

しなののうた

雨音を聞きつつ床に就くものの今朝音もなく淡雪舞えり



杉田小百合

しなののうた

目の前に淡雪あわあわ舞い踊り無言で
我的心を奪う

杉田小百合



しなののうた

淡雪が薄ら椿の花被いくちびるのごと紅を覗かす



杉田小百合

しなののうた

雪解けの畑は斑に模様してピカソの描く裸体にも見ゆ

杉田小百合



しなののうた

雨水過ぎ寒さ緩みて
開け放す窓より入りぬ
旨い空気は



杉田小百合